第3回

道徳教育推進研究全国大会

式　次　第

一、公開授業（10:30～11:15）
「人物資料を活用した道徳授業」　筑波大学附属小学校教諭　山田誠氏

一、研究協議・指導講評（11:30～12:00）　教育評論家・元東京都国立市教育長　石井昌浩氏
早稲田実業学校初等部教諭　星直樹氏
鳥取大学附属小学校教諭　木原一彰氏
東京都豊島区立豊成小学校主幹教諭　木村隆史氏

一、質疑応答（12:00～12:30）

＜　昼　休　み　　12:30～13:40　＞

一、実践報告（13:40～15:00）
「人物資料を活用した道徳授業」　京都市立花山中学校校長　澤田清人氏

一、模擬授業（15:10～16:10）
「人物資料を活用した道徳授業」　植草学園大学発達教育学部名誉教授　野口芳宏氏

一、ディスカッション（16:20～17:20）
「畏敬の念をどう教えるか」
［登壇者］山田誠氏・澤田清人氏・野口芳宏氏
［コーディネーター］武蔵野大学教育学部教授　貝塚茂樹氏

一、閉会の辞　石井昌浩氏

日時：平成 26 年 11 月 15 日（土）　10:30～17:30（受付　10:00～）
会場：倫理文化センター2階ホール
（東京都千代田区三崎町 3-1-10）
［ 主催 ］　道徳教育推進研究会（道推研）
［ 後援 ］　道徳教育をすすめる有識者の会　日本弘道会　モラロジー研究所　倫理研究所
全日本教職員連盟　日本教育文化研究所　日本教育新聞社　日本教育再生機構　育鵬社
［事務局］　〒105-0022　東京都港区海岸 1-15-1　株式会社育鵬社内
（電話:03-3432-8681　FAX :03-3432-8689）

[テーマ] 偉人と畏敬の念をどう教えるか

開催趣旨　今年度より道徳の新教材『私たちの道徳』（文部科学省）が全国の小・中学校へ配布された。改正教育基本法の理念が反映され、国内外の偉人や著名人、伝統・文化、生命尊重等に関する読み物などの素材が盛り込まれている。

しかし、教育現場では「偉人や畏敬の念を扱った教材の教え方が分からない」という声が少なくない。

本研究会は過去２回、人物の伝記や実話資料を活用した道徳の授業を提案してきたが、３回目となる今回は、「偉人と畏敬の念をどう教えるか」というテーマで、授業実践例や模擬授業を通じてより深く掘り下げていく。

登壇者略歴

山田誠　筑波大学附属小学校教諭

東京都公立小学校教諭を経て現職。NHK 道徳教育番組『時々迷々』、『道徳ドキュメント』番組委員を務める。著書に、『子どもの豊かさに培う共生・共創の学び（道徳）』（共著、東洋館出版社）、『NHK 道徳ドキュメントモデル授業』（共編著、図書文化社）、『筑波発　道徳授業の改善』（共著、不昧堂出版）、『実話をもとにした道徳ノンフィクション資料集』（共編著、図書文化社）など。

澤田清人　京都市立花山中学校校長

京都教育大学教育学部卒業。市立弥栄中学校教頭、京都市教育委員会学校指導課と教員養成支援室の指導主事を経て、現職。京都教育大学大学院連合教職実践研究科講師、京都教育大学及び立命館大学非常勤講師を務め、人権教育、道徳教育の実践・考察を続けている。著書に『シリーズ明日の教室』（共著、ぎょうせい）。人権教育・道徳教育・総合的な学習の時間に関する研究論文は多数。

野口芳宏　植草学園大学発達教育学部名誉教授

千葉大学附属小学校教諭、　公立小学校校長を経て北海道教育大学教授、植草学園大学発達教育学部教授を歴任。千葉県教育委員。日本教育技術学会名誉会長、日本言語技術教育学会理事・副会長など。共著に、『野口流 授業の作法』（学陽書房）、『子どもは授業で鍛える』『鍛える国語教室シリーズ』（以上、明治図書）、『道徳授業の教科書』　（さくら社）ほか多数。

貝塚茂樹　武蔵野大学教育学部教授

国立教育政策研究所主任研究官などを経て、現職。専攻は、日本教育史・道徳教育論。著書に、『戦後教育改革と道徳教育問題』（日本図書センター）、『道徳教育の教科書』（学術出版会）、『教えることのすすめ―教師・道徳・愛国心』（明治図書）、『教育における「政治的中立」の誕生』（共著、ミネルヴァ書房）など。近刊に『道徳教育の取扱説明書』（学術出版会）、『文献資料集成　日本道徳教育論争史（全 15 巻）』（日本図書センター）など。

人物資料を活用した道徳授業

筑波大学附属小学校　　山田　誠

１．主題名　　松井秀喜はなぜ感謝するのか　２－（５）尊敬・感謝
２－（４）謙虚・寛容

２．ねらいとする道徳的価値について
①尊敬・感謝
自分は、一人で生きているわけではない。親兄弟・友達・近所の人々・学校の上級生や先生たち等の身近な人々に支えられているだけでなく、見知らぬ人々や自然にも支えられている。自分の日々の生活が、このように「多くの人々に支えられ助けられている」具体的事実を知れば、ありがたいと思う心が自然に生まれる。
感謝の「感」は、「ものごとに触れて心が動く」ことをいう。それは、自分が多くの人々に支えられ助けられている具体的事実を知ることによって生まれる。このようにして心が動けば、ありがとうという「謝」の言葉だけでなく、それにこたえようとするようになる。
②謙虚・寛容
「謙虚な心」はどこから生まれるのであろう。それは、自分をまっすぐにみることによって生まれる。自分は不完全な存在であり、至らないところがたくさんあり、他者には自分にないよさがたくさんあるという自覚である。そうなれば謙虚にならざるを得ない。
このような自覚は、「広い心」にも通じる。自分には至らないところがたくさんあるという自覚は、ものの見方・考え方に絶対はありえないという自覚を生む。いろいろな考え方に立ってものことをみようとする広い心をもつようになり、相手の過ちに対して自分も同じ過ちを犯すかもしれないと許す心も生まれる。

３．資料名　「自分の力だけでやってこれたわけではない」──松井秀喜
（『はじめての道徳教科書』育鵬社）
本資料は、松井選手が、彼を育てた両親、中学校時代のコーチ、星陵高校の山下監督、巨人軍の長島監督との関わりを通して、常に感謝の気持ちを忘れない謙虚な気持ちをもったプロ野球選手に成長したことが書かれている。

４．指導上の工夫
①教えるべきことは教える
道徳の授業において、教師が教えることはいけないという考え方をする人が多い。しかし、人物資料を用いた授業において、教師の指導なくして、子どもたちがその人物の生き方の深さを充分に理解することはできないのではないだろうか。
本時の授業では、松井選手の生き方について子どもたちに考えさせると共に、教師も自分の考えを子どもたちに伝えていく。教師は子どもたちより多くの人生経験を積んだ先覚者である。さらに松井選手についても、子どもたちよりも多くの情報をもっている。そのような教師が、授業において積極的に子どもたちに教えていくことは、当たり前のことである。
②松井選手とイチロー選手の比較
本時の後半で、松井選手とイチロー選手のプロ野球選手としての生き方を比較して考えさせることにした。この学習は、本時のねらいから多少ずれるかもしれないが、イチロー選手と比較することを通して、松井選手の生き方がより鮮明になると思われる。

5．本時のねらい

◎松井選手の生き方や、松井選手と松井選手を育てた人々との関わりについて考えることを通して、感謝の気持ちをもち、それを態度で示そうとする心情を養う。

○松井選手の生き方や、松井選手と松井選手を育てた人々との関わりについて考えることを通して、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にしようとする態度を育てる。

6．本時の展開

<table>
<tr><th>学習活動</th><th>指導上の留意点</th></tr>
<tr><td>1．松井選手が国民栄誉賞を受賞した時のDVDを視聴する。

2．「自分の力だけでやってこれたわけではない」を読んで話し合う。</td><td>・感想を発表させる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">発問①「松井選手に『何かしぐさの中におごりのようなものを感じて気になるんだが』と言ったお父さんが言いたかったことは何でしょう」</td></tr>
<tr><td>・謙虚な気持ちを忘れてはいけない。
・チームが日本一になったからといって、自分が偉くなったわけではない。</td><td>・父の言葉に線を引かせる。
・教師が大切だと思うことを子どもに教える。</td></tr>
<tr><td colspan="2">発問②「『バットはおまえにとって何よりも大切な野球道具だろう』と言った高桑コーチが言いたかったことは何でしょう」</td></tr>
<tr><td>・野球選手ならば、野球道具を大切にするべきだ。
・何があってもふてくされた態度をとってはいけない。</td><td>・高桑コーチの言葉に線を引かせる。
・教師が大切だと思うことを子どもに教える。</td></tr>
<tr><td colspan="2">発問③「『心が変われば行動が変わる・行動が変われば習慣が変わる・習慣が変われば人格が変わる・人格が変われば運命が変わる』とは、どういう意味でしょう」</td></tr>
<tr><td>・心を変えることが大切
・小さなことが大きなことにつながる。</td><td>・山下監督の言葉をホワイトボードに掲示する。
・教師が大切だと思うことを子どもに教える。</td></tr>
<tr><td colspan="2">発問④「松井選手は、お父さん・高桑コーチ・山下監督の教えを生かして、どのようなプロ野球選手になったでしょう」</td></tr>
<tr><td>・ファンへの感謝の気持ちを忘れないプロ野球選手
・マスコミに対して誠実に対応するプロ野球選手

3．松井選手とイチロー選手の生き方を比較して考える。</td><td>・本時の学習を元に考えさせる。
・自分の考えをノートに書かせる。</td></tr>
<tr><td colspan="2">発問⑤「自分だったら、松井選手とイチロー選手のどちらの生き方を選びますか」</td></tr>
<tr><td></td><td>・松井選手とイチロー選手の生き方の違いをを具体例を挙げて説明する。</td></tr>
</table>

平成２６年１１月１５日

道徳教育推進研究全国大会　レジュメ

実践発表

京都市立花山中学校
校長　　澤田　清人

○今回の報告について○

Ⅰ　道徳の研究で学校をつくる
　京都市立花山中学校での実践から　　平成２３年度～

Ⅱ　『学校で学びたい日本の偉人』　出稿に当たって

Ⅰ　道徳の研究で学校をつくる

１　アンシャン・レジーム（革命前夜　旧体制）

（１）教職員体制

（２）学校の様子

① 生徒指導中心
② 研究活動は
③ 組織の弱さの原因
④ 道徳教育に関して
⑤ 生徒指導と道徳との併用　生徒・教職員・集会のあり方・保護者・学校を変えたい
⑥ 創立５０周年記念行事（２４年度）

２　研究について

（１）研究テーマ

『仲間集団を大切にし、豊かで確かな人間関係を結ぶ生徒の育成』
～　考え、語り、聴く活動を通して～

（２）取組について

① 道徳教育を通じて
② 率先垂範
③ 企画

（３）ローテーション道徳

① ローテーション道徳とは
② 期待できる効果　成果

（４）組織作りと運営の工夫

　① 研究推進委員長

　② 副委員長

　③ 研究推進委員会の性格と運営上の工夫

II　『学校で学びたい日本の偉人』　出稿に当たって

１　この授業への私の思い

（１）育った時代

（２）伝えたいこと

（３）マザー・テレサとの出会い

２　さて、授業をするとなって…

（１）指導案は書けるが

（２）訪れた生徒

３　授業の内容　（実践報告）

（１）ルーティーンワーク

　① 道徳の時間とは

　② ３つの約束

（２）テレサの顔写真　「愛の反対は？」

（３）「生命あるすべてのものに」～マザー・テレサ～　から

（４）課題（ワーク）１

（５）学習の様子１　生徒の反応から

（６）課題（ワーク）２

（７）学習の様子２　生徒・保護者の反応から

（８）テレサの話をもう一つ

さいごに

先日（１０月３１日）の京都市立花山中学校「研究発表」　公開授業より

（１）授業展開「胆の部分」と生徒の様子

（２）“おまけ”　使用した動画の紹介

※ご清聴、有難うございました。是非、ご忌憚のないご意見をお聞かせください。

資料名「生命あるすべてのものに――マザー・テレサ」（『13歳からの道徳教科書』育鵬社）

1　学習指導要領の内容項目

１－（４）　心理を愛し、真実を求め、理想の現実を目指して自己の人生を切り拓いていく。

2　本時の指導

①本時のねらい

○　豊かな日本の中にあって、見落としがちな「心の貧しさ」に気づかせる。

○　豊かな生活の中でも、「人や物を大切にする心」をもち続けて生きていこうとするきっかけにさせる。

②本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点
導入 Ⅰ	①　道徳学習についての確認。 ・　心が温かくなる時間 ・　みんなでつくる楽しい時間 ・　「気づき」や「考えの変化」を大切に	①　これまで何度も繰り返し語ってきたことだが、ルーティーンワークとして行うことで、生徒の心に刻みつける。
	②　約束事を確認する。 ・　「頭と心で考える」 ・　「思いきって発言する」 ・　「人の意見をしっかり聞く」	②　約束事項が実現される中で集団がつながりあい、心や考え方が豊かになることを伝える。
導入 Ⅱ	③［愛の反対は？］と示す。 **「愛の反対は何だと思いますか。」** ④　マザー・テレサの写真を出す。 **「この人を知っていますか。」** **「今日はこの人について学習します。」**	③　どんどん発言させる。 ④　マザー・テレサだ。 おそらく知っている生徒がいる。 生徒が学習の内容を知る。
展 開	⑤　**彼女は「愛の反対は無関心です。」と言いました。** ⑥　テレサについてまとめたプリントを配布する。 ⑦　テレサと授業者との出会いについて話して聴かせる。 ⑧　資料－１を読む。 ⑨　**我が国の豊かさの中にあって、「心の貧しさ」「心の飢え」と思えるものをいくつか挙げてみましょう。また、なぜそれを挙げたかも考えてください。** ⑩　考えを発表しあう。 ⑪　**「堕胎を許さない決意をしましょう、というマザー・テレサにあなたはどう答えますか。」【主発問】** ⑫　考えを発表しあう。	⑥　生徒に読ませる。 ⑦　生徒一人ひとりの目を見て話す。 生徒はじっくり聞いている。 ⑧　授業者が範読し、生徒は黙読する。 ⑨　ワークシートに記入させる。 ⑩　書いたことを読むのではなく、自分の言葉で発表させる。 時間をかけ過ぎないようにする。 ⑪　ワークシートに記入させる。 ＢＧＭを流す。（５分間） ⑫　発表者に顔を向けて聴くようにさせる。
終末	⑬　資料－２を読む。 ⑭「愛の反対は、無関心」について再度考えさせる。 ⑮　授賞式後の記者とのやりとりを紹介する。 （⑯　今日の授業の感想を書く。） ⑩　授業振り返りシートを記入する。	⑬　授業者が範読し、生徒は黙読する。 生徒一人ひとりの目を見て話す。 生徒はじっくり聞いている。 （⑯　⑪に時間がかかったら割愛する）

『道徳学習』ワークシート

氏名(　　　　　　　　　　)

1　「心の貧しい」と思えるものを挙げましょう。また、なぜそれを挙げましたか。

2

3　今日の授業の感想を書きましょう。

☆今日の『道徳』の授業を振り返って☆

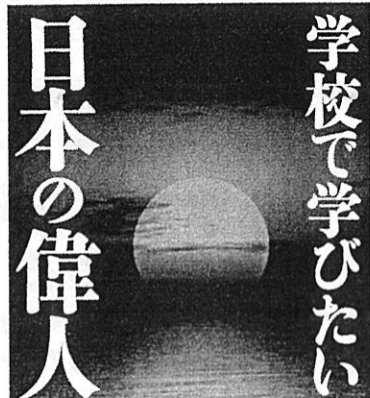
	たいへん	まあまあ	あまり	まったく
今日の授業は楽しかったか	4	3	2	1
共感・感動したか	4	3	2	1
自分自身を振り返ることができたか	4	3	2	1
新たな『気づき』があったか	4	3	2	1
資料はよかったか	4	3	2	1
次の時間が楽しみか	4	3	2	1

※退出時に提出してください。

育鵬社
最新刊のご案内

「こんな授業を受けたかった！」
カリスマ教師と子供たちの白熱授業を実況中継！

学校で学びたい日本の偉人

「道徳の教科化」に向けた、新しい道徳のスタンダード！

11/25
発売

貝塚茂樹・柳沼良太編
A5 判並製 288 頁
定価：本体 1300 円＋税

偉人の生き方から学ぼう！

吉田松陰
「世のため人のために身を粉にして尽くさなければならない」
坂本龍馬
「我が為すことは我のみぞ知る」
二宮金次郎
「小を積んで大と為す」
小林虎三郎
「この百俵の米をもとにして、学校を建てるのだ」
野口英世
「志を得ざれば、再びこの地を踏まず」
八田與一
「官位や地位のために仕事をするのではなく、人類のために」
中江藤樹の母
「一人前になるまでは決してもどってはならない」
杉原千畝
「あなたたちすべてにビザを出します」……全 12 名を収録

本書を活用した道徳授業の指導案は 11 月 21 日に育鵬社ウェブサイトに掲載します。
詳しくは⇒http://www.ikuhosha.co.jp

偉人から学び、偉人の生き方を教えよう！

私たちは、正義、勇気、節制、親切、思いやり、誠実などの徳目の大切さを頭で理解することはできます。
しかし、徳目それ自体に感動するわけではありません。
私たちが感動するのは、勇気や正義を自らの生き方を通じて実践した「偉人」の生き方や格言に対してです。
「偉人」の生き方に憧れ、格言に共感し、それに心惹かれたときに生まれる感動こそが私たちの生きる力になるのではないでしょうか。―「はじめに」より

発行＝育鵬社　発売＝扶桑社

[お問い合わせ先]扶桑社・販売局　〒105-8070　東京都港区海岸 1-15-1　TEL03-5403-8859（月～金 10:00～17:00）　[育鵬社]03-3432-8681（編集）